

報道機関各位

熊本大学

熊本大学工学部 120 周年記念事業  
「2016 年度熊本無人機研究会 講演会  
現場で活用できる無人航空機－最前線と電波利用－」  
を開催！

この度、熊本無人機研究会、総務省九州総合通信局と本学工学部等共催で、「2016 年度熊本無人機研究会 講演会 現場で活用できる無人航空機－最前線と電波利用－」を下記のとおり開催します。

熊本では、震災を機に無人機などの活用がより一層注目を集めた年となりました。また、総務省では、ドローンで利用可能な周波数の拡大等について制度整備を行われております。そこで今回、熊本無人機研究会と総務省九州総合通信局が、被災地や南極など制限の多い現場などでの活用に向けた無人航空機への最近の取り組みや電波利用に関する制度、携帯電話の上空での利用について等の講演会を企画し、本学工学部等が共催する運びとなりました。

つきましては、広く一般の方にお知らせいただくとともに、当日の取材方よろしくお願い致します。

## 記

- 【日 時】平成 28 年 12 月 19 日（月）13：30～17：10  
【場 所】熊本大学 黒髪北地区 くすの木会館レセプションルーム  
（熊本市中央区黒髪 2-40-1）  
【対 象】一般の方どなたでも  
【参 加 費】無料  
【定 員】150 名（来場者多数の場合は立ち見となりますがご容赦下さい。）  
【申込方法】下記、熊本無人機研究会 Web サイトよりお申し込みください。  
熊本無人機研究会 講演会登録サイト  
[https://drone.kumamoto.jp/sympo2016\\_reg](https://drone.kumamoto.jp/sympo2016_reg)  
[申込締切]平成 28 年 12 月 16 日（金）  
定員に空きがありましたら当日受付有り  
（プレスの方も残席有れば当日受付可）  
【内 容】（講演者、タイムスケジュール等を記載）  
13:00 開場  
13:30 開式の辞（熊本無人機研究会 水本郁朗 会長）  
来賓挨拶  
来賓挨拶  
特別講演 1（発表 40 分、質疑 10 分）

- 13:45 「ロボット／ドローンにおける電波利用の高度化に関する電波政策と今後の取り組み」  
(総務省総合通信基盤局 電波部 移動通信課 和田孝行 第一技術係長)
- 14:35 休憩 (10分)
- 特別講演2 (発表40分、質疑10分)
- 14:45 「災害時等での小型無人機活用に向けた電波利用技術の動向と取り組み」  
(国立研究開発法人情報通信研究機構  
ワイヤレスネットワーク総合研究センター 三浦龍 上席研究員)
- 15:35 休憩 (15分)
- 講演 (発表15分、質疑10分)
- 15:50 南極でのカイトプレーン飛行  
(株)スカイリモート 岡部和夫 代表取締役)
- 16:15 ドローンを用いた露天掘り鉱山監視システムの開発  
(熊本大学 大学院先端科学研究部 尾原祐三 教授)
- 16:40 音源探査のためのマルチロータヘリコプタシステムの開発  
(熊本大学 大学院先端科学研究部 公文誠 准教授)
- 17:05 閉式の辞 (熊本無人機研究会 水本郁朗 会長)
- 18:00 閉場

【主催・共催】熊本無人機研究会，総務省九州総合通信局，

熊本大学熊本復興支援プロジェクト，熊本大学工学部

【後援】経済産業省九州経済産業局，熊本県，九州航空宇宙推進協議会，

(一社)九州テレコム振興センター，(一社)電子情報通信学会九州支部，

(一社)全国陸上無線協会九州支部

※詳しくはホームページをご覧ください。

<https://drone.kumamoto.jp/sympo2016>

【お問い合わせ先】

熊本大学 大学院先端科学研究部

担当：水本郁朗准教授

(熊本無人機研究会 会長)

TEL：096-342-3759 (直通)

FAX：096-342-3729

E-mail：info@drone.kumamoto.jp